

バーチカルワールドを堪能

信州 米子不動 大沢エリア IC

米子不動は、100m級の氷瀑が懸崖にずらりと並ぶアイス天国である。昨シーズンは、ウラノ沢の奇妙ノ滝、十八幅滝、不動尊周辺の黒滝、カチカチ山、大沢の不動戻しの各ルートに登り、大変なアプローチの苦労をしても余りある素晴らしいクライミングをすることが出来た。今回は、一番手前の大沢エリアの氷瀑群を目指した。

アプローチは、林道をえんえんと歩くのだが、スノーモービルのパーティが2台入っていて、そのトレース使えて楽が出来た。去年は他のパーティとは会うこともなかったが、今回は日帰り2パーティ、2泊3日で我々含めて3パーティが入り、大盛況である。静かなクライミングも良いのだが、このようにアプローチが大変なエリアでは、それなりに人が入った方が楽が出来て良い。前後する JECC・ぶな混成の4人パーティは、A澤さん、Y川さんとガイド本で有名なH川さんほか1名である。先行しているのは、元会員のM理さんの2人パーティで、昨年ブライダルベールに行ったときに会ったのと同じ見知った顔触れが並び、志向とタイミングが合っているのが面白い。今回もテントや登攀具をそりに乗せて引き、トレースのおかげでそれほど苦労することもなく3時間で米子橋に着くことが出来た。早速ベースを張って、偵察へ向かう。どうやら先行3パーティとも大沢に入ったようなので、トレースを追う。

「不動戻し」に着くと、ちょうどM理さんが1ピッチ目をリードしているところだったので、しばし見学。今回登る予定の「夜叉」と「阿修羅」の状態を見に行く。「夜叉」は水が結構滴っているが、ラインを選べば登れそうだ。「阿修羅」は、オーバーハングを越えるのがポイントになりそうだった。その後、ロープとスクリュウを「夜叉」の基部の岩小屋にデポしてから、「どぜうの詩」を見に行くが、取付いていたパーティは既に帰った後だった。すごいペンシル状の険悪な氷瀑で、氷はシャンデリア状で状態は悪そうであった。右の氷柱の脇のクラックにもフィックスロープがあり、こんなところドラツで登れるかなという感じだ。結局、初日は偵察に終始して、ベースに戻った。

◆ 夜叉 85m VI と 不動戻し 100m VI-

2日目は早起きして、5時35分の暗いうちに出発する。昨日偵察済でトレースを辿

【日程】

2016年2月11日(木)
～2月13日(土)

【メンバー】

小暮(主)、笹川

【グレード】V+～VI

【地形図】四阿山

【記】小暮



夜叉 1P目 バーチカル



夜叉 2P目 ハング越え

るだけなので、気は楽である。1時間強で「夜叉」の基部に着く。まだ他のパーティも来ていないので、昨日水が滴っていた「夜叉」に取付くことにする。登攀ラインは、下部氷柱は、水の滴る左側は避けて右から登り、傾斜の緩んだ斜面を左へ斜上してテラスでピッチを切り、上部氷柱はハングを右から左へまわりこんで越え、バーチカルを登って落ち口へ至るルートだ。

夜叉 1P目 45m V+ 小暮リード 左側は水が滴っているので、右側から登っていく。氷が脆いところもあるので慎重に行き、バーチカル部分を越えると、雪水となり難しくないが少々嫌らしい。テラスまで行き、ビレイ。

夜叉 2P目 55m VI 小暮リード 左右水が滴っているので、中央の堆氷をあがってから、氷柱の右側へ。核心のハング越えは、右からハング部分をトラバースして左の氷柱の中段に移る。氷が硬く、ハング下よりも氷柱に移ってからが少々大変だった。大分パワーを使ってしま

ったが、なんとかアックステンションせずに抜けることが出来た。なかなか激しい登攀であった。

懸垂は、氷瀑の左側を下降し、テラスの灌木で中継して2ピッチで取付きに戻った。まだ12時過ぎで、このままBCに戻るのも時間を持て余しそうなので、昨年登った「不動戻し」にも取付けてみる。

不動戻し 1P目 50m VI- 中央から右は水が滴っているので、左側正面の氷柱から登る。見た目はV+位に見えて、今年は簡単になっているのかなと思っていたが、やっぱり取付いてみるとVI-はある。夜叉を登った疲れがあるので、パンプする。アックステンションしそうになるのをこらえて、昨日別パーティのM理さんが作っていたVスレッドの終了点まで登り切った。米子不動を1日2本登るのは結構大変だ。このまま2P目も登っても良かったが、核心部は越えたい昨年上まで登ったので、今回はここで終了とする。なかなか、充実し過ぎの2日目。疲れて明日は登れるだろうか。

◆ 阿修羅 70m VI-

3日目は、天気が夜には崩れるというので、早出してまだ登っていない「阿修羅」を登ってから下山することにする。もともと3泊4日の計画だったが、昨日頑張りすぎてしまったので、



阿修羅 1P目 シャワー



阿修羅 核心部上のピッチ

結果オーライか。この日は春一番となる異常な高温となり、更に翌日はもっと気温が上がるらしいので妥当な判断だろう。

暗いうちからBCを出発し、朝一番でアプローチして、朝一番で取付く。登攀ラインは、中央から氷柱を登り、ハングを右に巻くように抜ければ、あとは傾斜が80度くらいになるので上に抜ければよい。

1P目 40m VI- (体感V+) 小暮リード 朝一番なら大丈夫かと思ったが、やはり昨日に比べると、かなり気温が上

がったせいか取付いてみるとものすごいシャワーだ。氷が柔らかくなっていて簡単になっているので、サクサク登れるのだが、支点を取らない訳にもいかず、スクリュウを打つが、シャワーに打たれてびしょ濡れになる。氷柱にはモコモコ氷があって足場となるので、意外に登りやすい。ハングの下に入ると、若干シャワーが避けられるので、左右に足を開いてゆっくりレストしながら登る。ハングは、左から右にフリークライミングのようなムーブで越えた。更にバーチカルを越えたところでピッチを切る。VI-のグレードが付けられているが、氷が緩んだ今日はV+位の体感だった。

2P目 35m V~IV 小暮リード ここからは若干傾斜が緩むので、登りやすい。ツララから滴るシャワー部分を抜けたのでここからは快適かと思いきや、こちらも氷の表面には水が流れており、やっぱりびしょ濡れ。今日は、アックスが刺さりやすいので楽が出来た。「阿修羅」は見た目にはものすごい迫力であるが、意外に登りやすくお買い得な感じがする。

あとはベースへ戻り、下山するのみ。気温が上がったためか、沢はデブリの山で気持ち悪い。行きで使ったスノーモービルのトレースも、潜るようになりちょっと歩きづらくなっていた。アプローチがもう少し楽だと助かるのだが。大沢エリアは、これで3本登った。まだまだ登るルートが沢山ある。来シーズンは、龍神エリアに行ってみたい。

【行程】

- 2/11 林道米子不動線駐車地点(9:00)～米子橋BC(12:00/55)～不動戻し取付(14:25)～偵察～BC(17:15)
- 2/12 BC(5:35)～夜叉取付(6:55/7:45)～2P目(9:20)～滝上(11:20)～取付(12:05)～不動戻し取付(13:05)～1P目下降(14:50)～取付(15:20/45)～偵察～BC(17:00)
- 2/13 BC(5:00)～阿修羅取付(6:15/6:50)～2P目(8:25)～滝上(9:30)～取付(10:10/30)～BC(11:45/12:40)～林道駐車地点(15:20)

米子不動 大沢エリア 氷瀑写真集



夜叉 85m VI



不動戻し 100m VI-



阿修羅 70m VI-



どぜうの詩 75m VI